號五第 No. 5 The Woman's Weekly December 3, 1915 （大正四年十二月三日）

婦人週報

主幹 小橋三四子
編輯主任 松本雲舟
（大正四年十一月四日第三種郵便物認可）（毎金

目次

婦人週報第壹巻第五號

因襲と風俗……小橋三四子
週評
時事
消化作用と精神作用……醫學博士 永井潜
女中とホラホーム……大澤千代子
一人一評——吉岡彌生
女湯改良論……（窪田空穂、矢島楫子、某夫人、雲舟生）
五重の塔……臼井晃南
小兒の死亡……内閣統計官 二階堂保則
日當四十錢……晃南
寄生論……雲舟生
偉い人と小鳥……巣鴨村人
子供の知慧
小説「奴隷」……松本雲舟
慰安錄
生きた鷄卵と死んだ鷄卵……薄田斬雲
斷食をして死せんとした私の經驗
クリスマスの贈物
火の用心
皮膚の注意……小口みち子
お正月の仕度
家庭小言……雲舟生
主婦の手帳
婦人の聲……電車内の喧嘩
寄書……某當局者に答ふ……大關ちか
編輯室より

因襲と風俗

小橋三四子

△女湯改良の主張

失禮なことの形容を「寢衣を着て人前に立つ」と申しますが、女湯改良論を主張する本誌は、さながら裸體で大道を行くものであると讀者は感ずるかも知れません。更らに智惠の木の實を食べぬ前のアダムとイヴとのやうに、純朴無垢な人にとつては、この問題は或は無用の詮議立てと感ずるかも知れません。然し肖像畫家に眞に近い自分の肖像を畫かれて「自分はこんなに醜婦ではない」と怒ると同じやうに、私共は因襲に囚はれた風俗をふと顧みてこんな事を口にするのも、紳士淑女の體面を汚すものであると、云ひ知れぬ侮辱を感ずることが、往々あります。女湯改良論も恐らく多數の人にとつて、この種の問題であらうと思はれます。

△改良したい點

錢湯の湯が顯微鏡にかけて黴菌が多いとか少いとか、日本の經濟上公衆衞生上是非存續しなければならないとか否とか云ふことは凡て別問題で、此處に兎や角申すべきものでは無いと思ひます。只錢湯は今後も必要なものとして存續させるに就て、是非風俗上改良したいと思ふ點を考へて見たいのでございます。勿論設備の上にも用意如何により、も少し完全にする事が出來ませう。例へば入口から男女の浴場が衝立一つで危く見え透くなどや、夏場など暖簾を越せば、道行く人からも流し場の見えるといふこと等も、少し建築の方法を變えたら、直ちに改めることが出來やうとは、誰れにも考へられます。

△廉耻心の痲痺

三助を女にせよといふ事は、湯屋の營業上には、建築上の設備を變へるより、多くの不便と不經濟とが伴うかも知れません。然し何事でも習慣を改めるには、多少の困難は免かれません。その困難を敢へて冒しても、尚改良の必要があるので、此處に大に世の注意を

（毎月一日發行）
發行所　東京市牛込區市谷田町二丁目十七番地
發行兼編輯人　小橋三四子　印刷人　小橋三四子
印刷所　東京市京橋區銀座四丁目一番地　福音印刷合資會社東京支店

促したいと思ふのであります。人間の廉恥心を痲痺させることは、凡ての罪惡の源で、何よりも恐るべき事であります。されはこそ風俗壞亂の廉を以て頻々出版物の發行停止は行はれ、裸體畫に嚴重な取締りが行はれて居ります。只女湯に見る奇怪な現象のみを社會も當局も看過して居るといふことは、矛盾も甚だしきもので、また因襲の力のいかに大なるかを思ふの外はありません。

△裸の日本

「裸の日本」と外人に驚かれる我が風俗は、決して香ばしきものではありません。一夫一婦といふ分り切つたる問題さへ、尙ほ幾年かの後の時期を待つて、世人に訴へなければならぬといふ哀れな狀態です。女湯を改良して直ちに風俗が一掃するかとは、曲論するものゝ言ひ草でありませうが、かやうな一端の風俗改良に關聯して、世人の良心を醒し、人間の本心を守るに必要な禮儀が生じて、人々の品格が高まつて來るのは事實であります。

△着々實行したい

男女の別の嚴しい日本婦人が、戀歌には「道ならぬ戀」など、平氣で歌つて居るのを怪しまぬやうに、一般に文字にすることに就ては遊戲心が多いので、從つて新聞雜誌の讀者も亦、社會改良論等を單に紙上を賑はす空論と看過しやうと致します。本誌は、苟も此處に論ずる事は、讀者と協力して、着々實行に現はして參りたいので、それに伴ふ勞力は少しも厭はないのでございます。

週評

▲皇后宮御慶事　御大典の無事結了せられしに安堵せる國民は、皇后宮御慶事の一日も早からんことを待望して居ります。御安產の御吉報一度傳はらば、津々浦々の民草は雙手をあげて萬歲を叫ぶ事でありませう。今年御皇室の御目度續きは何よりの事と存じます。

▲帝國議會開會　帝國議會は開院式の後、在野黨の要求あるに拘はらず休會せずに引續き開會するさうですが、これは今年の議會の騷擾を豫示するものであります。少數黨の斯る要求を入れることの出來ぬ多數黨の狹量を慨嘆いたされます。何故多數黨は斯るつまらぬ事を角立てるのでせうか。日比谷原頭の政戰がもつと正々堂々と行はれ、敵味方共に卑怯未練の振舞のなからんことは、衷心より願はしいことであります。神聖なる議會は男の野獸性、卑屈性の現實暴露で、有ゆる不德が公許されてゐるやうに見えますが、いかにも見苦しい次第です。敵味方共に權勢を度外において、誠心唯國家を思ふの念より政治を議するとは出來ないものでせうか。併し議會は國民品性の反映鏡です。議會の亂秩序を責める前に、國民品性の下劣なのを改めねばなりますまい。

▲九名の新男爵　御大典を期として勳功に依つて九名の新男爵が出來ました。學者、敎育家、實業家といふやうな顏ふれですが、其の光榮を祝はねばなりません。中にも森村翁の如きは、只管正直なる道を辿つて一代の富豪となれる人、日本における理想的實業家といはれてゐます。山川健次郎氏は敎育家として至誠硬直の人、穗積陳重氏は法學者として學界に重きをなすの人、其他の諸氏それ〴〵社會に貢献あるのでございませう。

▲英支同盟の否認　英國大使グリーン氏は外務省に幣原次官を訪ひ、英國は日本と協議の上にあらざれば、支那と政治上の性質を帶びたる協議をなすの意志なしといふ英國外相の覺書を手渡されたさうです。これが事實とすれば、英支同盟は獨逸側から出た根もない風說であつたのでせう。其の事實ならんことを望みます。

▲獨逸の損害高　開戰以來十五ヶ月間における獨軍の損害高は四百五十萬人に達し、其內三百萬は再び軍隊に復役することが出來ないさうで、其のために獨逸は將來の損害に應せんために、兵役年限を四十五歲以上に延長することに內決し、四十六歲より五十歲に至る人民を徵集する手筈ださうですが、いかにも悲慘な事實であります。勿論現在の獨逸としては、國家の存立上、斯る非常手段をも取らねばならぬのでせうが、十五ヶ月前に溯つて考へて見れば、少し謙遜な態度に出れば、斯る戰亂を惹起さずとも濟んだわけです。謙遜は個人の德であるばかりか、國家的道德の要素です。損をして得を取ることは外交の一秘訣でありませう。（十二月二日稿）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

聖上還幸

前號に謹記いたしました畝傍神武天皇山陵御親謁の儀を行はせられし翌十一月廿五日、聖上陛下には畏こくも明治天皇の桃山御陵御親謁の御儀を行はせられ、二十六日には孝明、仁孝、光格三帝の泉山御陵に御禮拜の御事あり、茲に京都に於ける御典儀の總てを滯りなく終らせられ、廿七日午前十時四十分賢所を奉安して京都御發輦、同日午後二時四十分名古屋停車場に御着輦遊され、同夜は名古屋離宮に御一泊、翌二十八日午前七時三十分同市御發、同日午後四時三十分、御機嫌麗しく東京驛に御着輦遊され、官民の熱誠なる奉迎裡に、宮城に御還幸遊されました。

新男爵九名

兼てより傳へられたる爵位授與は十二月一日午前九時宮内大臣官房に於て左の如く行はれました。

京都府知事 正三位勳一等 大森鍾一
古河合名會社々長 勳三等 古河虎之助
法學博士 正三位勳一等 穗積陳重
大審院長法學博士 正三位 横田國臣
貴族院議員 從三位勳一等 田中芳男
東京帝國大學總長 從三位勳二等理學博士 山川健二郎
從五位勳二等 大倉喜八郎
正正位勳四等 三井高保
勳四等 森村市左衛門

依勳功特授男爵

樞密顧問官陸軍中將 從二位勳一等子爵 曾我祐準
樞密顧問官文學博士 從二位勳一等男爵 細川潤次郎

叙正二位

五年度豫算綱要

十一月廿六日、政府は大正五年度の豫算綱要を發表しましたが、それに依ると五年度歳出入は

(甲)歳入、經常部五億二千三百二萬餘圓 臨時部三千四十七萬餘圓
合計五億五千三百五十萬餘圓
(乙)歳出、經常部四億九千七百四十五萬餘圓 臨時部一億五千六百五萬餘圓
合計五億五千三百五十萬餘圓

と云ふ豫算ですが、前年度實行豫算額に比すれば各々三千六百八十二萬餘圓を減じてゐます。

△主要なる新事業　五年度の新事業中主なるものは(一)軍艦製造費の追加總額四千五百三十二萬圓中五年度の年割額五百八十八萬圓(二)電話交換及擴張費總額二千二百五十萬圓中五年度額四百五十萬圓(三)五箇の領事館、分館新設費及領事館新築費合計二十五萬餘圓(四)米麥品種改良費八萬餘圓(五)染料及火藥爆藥原料製造奬勵金六萬餘圓(六)畜産試驗所新設費十萬餘圓(七)能取岬航路標識新設費二萬餘圓(八)船用品檢査所設置費五萬餘圓等です。

女高師四十年式

女子高等師範學校にては同校四十年、分立廿五年記念式を廿九日午前十時からお茶の水の同校講堂で開かれました。清掃された校庭には今日を晴れと美しく着飾つた生徒の群は朝まだきから登校して榮えある式を待ち侘びてゐました。此日は畏くも

△皇后陛下の御名代として伏見宮博恭王妃經子殿子御臨場あり、左の優渥なる令旨を賜はりました

令旨

太后の開校の式に臨み給ひしや深く當局者の計畫を喜し親諭して他日の効果を庶幾し給へり蓋し今日女子教育の隆運馴致したるは其の胚胎せし所亦甚だ遠しと謂ふべくして實に從事の人の黽勉努力して懿旨に奉答せしことを期せしに外ならずとす皇后陛下の遺範を紹述し給ひ方に女子教育の事に御心を注ぎて更に將來の大成を望ませ給へば諸員は宜しく益々奮勵して敢て懈ることなかるべし

これに對し奉り中川校長の恭しき奉答の辭あり、續いて生徒一同は昭憲皇太后御下賜の御歌『みがかずば』の唱歌に亡き御靈を偲び參らせ、次で校長の式辭、文部大臣を初として職員、生徒、卒業生來賓總代の祝辭等あり「君が代」合唱の後十一時殿下には御機嫌麗はしく還御遊ばされました。當日の來賓には高田文部大臣、山川帝大總長を初めとして文部各局長女學校々長等三百名の外思ひ出多き學庭に集ひたる三百餘名の同校出身者の顔にはにこやかな笑みさへ浮んで居りました。

樓上の明治紀念室には先帝より御下賜の抱一の筆になりし三幅對

△昭憲皇太后の御遺物や御手筐を初めとして、明治天皇御講書に關する文書御事跡に關する圖書等配列せられ、次室には過去四十年間の活歴史を語るべき書籍寫眞、製作品等を陳列されてありました。卅日も午前九時より一般人の觀覽を許しました。世紀別、年代別に列べられてあつた化石、礦石、岩石類は餘程の丹念で蒐集されたものでせう。其の他大友宗麟、黑

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

田如水、細川忠興のローマ字の印鑑、天草版平家物語等珍貴な參考品が澤山ありました。尚ほ十二月一日には講演會が催され非常な盛會でした。

東北大學女子教育觀

東北帝國大學は近く北條同總長の名を以て、女子と大學教育とに關する同大學の態度を發表するさうです。右は同大學が率先して女子の入學を許可したる過去二ケ年の經驗を基礎とし、過日文部省よりの大學令案の諮問を受けたる際、各分科大學並に評議員會の討議の結果を參酌したものゝ由で、女子大學問題に對する官立大學の態度中最も有力なるものと觀測されてゐます。其内容は勿論秘密に附せられてゐますが、大學が或る方法に依り男女學生を共學せしむるは敢て不可なき事であるから女子のみの大學を許可するのは、理論としては兎も角、實際上時機尚ほ早しと云ふのでありますと。

セルビヤの慘狀

近着外電は塞國外務秘書官の妻たる一米國婦人の談として報ずらく「今や塞國三百萬の國民は飢死に瀕し、凡ての馬には秣乏しく家に殘されたる數十の犬は互に繫ぎ合されたる儘獲物を漁りて丘の邊を徘徊してゐます。塞爾維全土は食なき土地と化し、ニッシュ、モナスチール間の道路は恐怖の魔物が引掻きし痕とも云ふべく、路傍には斃したる馬及び困憊せる老若男女の落人が倒れ伏してゐます。私等は避難の道中一日僅に半斤のパンを得るのみ、一夜留ならぬ叫聲に驚かされましたがそは饑に狂へる男に半斤のパンの爲めに打殺された人の叫聲でありました」と。

日本最初の看護婦逝く

我國に於ける最初の看護婦として、忘るべからざる杉本かね子刀自は、十一月廿五日朝享年七十八歳を以って逝かれました。刀自は不幸にして早く良人に先き立たれ、二兒の教育より一家の生計をか弱き身に擔ひ、明治元年三十歳の折醫科大學の前身大學東校の看護婦となり、明治六年佐藤尙中博士の順天堂分院を開くに際し、選拔され爾來三十三年十一月迄同院の婦長として勤務致しました。伏見宮大妃殿下の乳癌を初め、大隈伯遭難の際の大手術等にも從つて非常に功のあつた婦人です。

米國女流作家の來朝

昨秋米國の讀書界で非常に評判された小說「水晶の十字架」の作者で、米國社交界に鳴響いてゐる富豪ホリアドグールド夫人は、十一月廿五日橫濱入港の日本丸で來朝されました。夫人は近く北京に赴いてモンテソリーの教育法による學校を設立される考へださうです。

◉露國行救護班出發 日本赤十字社第二回遣露救護班通辯寺田多三郎、看護婦伊藤たまき、武藤さと、生澤たつの、中馬みさき、蜂谷たつ、生月きよの七名は十一月二十六日東京發二十七日敦賀發鳳山丸にて露京へ向け出發しました。

◉寺尾愛子自刀の賀筵 東京天文臺長理學博士寺尾壽氏、法學博士寺尾亨氏、醫學博士澄川德氏の三博士母堂として幸多き愛子(八)刀自は、今回高齡者として天盃拜受の光榮に浴し、去月廿七日府下柏木の邸に於て一門の方々と共に賀筵を開いて其幸福を祝されました。

◉小學校の授業料 東京市は小學校の增設に費用を要する爲め尋常小學校二十錢高等小學校一圓の授業料を徵收してゐましたが、十日の市參事會に於ては本年を以て期限滿了に付き更に三ケ年間徵收の申請を爲す事に決しました。

◉女官の叙勳 皇后宮職柳原愛子は、勳二等寶冠章、萬里小路幸子、高倉壽子、千種任子、園祥子は勳三等寶冠章に、姉小路良子、小倉文子は勳四等寶冠章に、正親町鍾子、吉見光子、藪嘉根子、小池道子、津守好子、香川志保子、吉川鉃子は勳五等寶冠章に、生源寺政子、富田算子、西にし子、平田三枝、樹下定江、大東登代子は勳六等寶冠章にそれ〴〵叙勳されました。

◉幸田女史叙勳 幸田延子女史も勳六等寶冠章に叙勳されました。

女學校だより

▲府立第三高等女學校　大正五年度より五學年級增設につき校舍增築中の處、本月末愈々落成の見込みなりと。

▲成女高等女學校　二日午前十時より同校内に於て同窓會を催せりと。

▲京華高等女學校　來る五日創立紀念式を擧行、續いて午前九時より午後四時迄同校内に校友會を開催し生徒の學藝練習運動會等あり尚ほ餘興として音樂家を聘して音樂會をも催すそうです。

▲香蘭女學校　十一月廿七日慈善市を開催しました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

精神作用と消化作用

醫科大學教授
醫學博士　永井潛

△精神の表現

精神の感動が身體の外に現はれる事は誰しも知つてゐる事で、怒つた時に顏の形が變るのは勿論の事、血液の循環に變化が起つて、顏が赤くなつたり、心臟の鼓動が烈しくなつたり、其他呼吸作用が變化して息づかひが荒くなつたりするのは、日常經驗して居る處である。其他嬉しい時に笑つたり、悲しい時に泣いたりするのも、皆精神作用が外形に及ぼす働きに外ならぬのである。然し精神作用の働きは斯く外形に影響するばかりでなく、身體の內部の機關にも著しき變化を起すものである。殊に其中での消化機關に及ぼす結果は頗る大切なる關係を持つて居るのである。

△犬に就ての實驗

此關係を實驗的に確め得たのは消化生理學で世界に有名なるペトログラード大學の教授パフロフ氏の功績である。氏は犬について、胃液の分泌の狀態を研究する爲めに、胃の一部分を切取つたものを、袋の如うな形にして其口を腹壁に縫付けて、外から自由に其內部の有樣を覗ひ知る事が出來る樣にした。殘りの胃の切口は奇麗に縫ひつけ、本來の大きな胃の傍に小さな外から樣子を知る事の出來る胃を作つて、而かも注意して小さな胃に附屬せる血管神經等の聯絡を傷けない樣にすると、大きな胃で起ると同じ樣な狀態が小さな胃に於ても起るのであつて、即ち大きな胃の狀態を小さな胃と云ふ一の鏡に寫して外から良く知る事の出來る樣な方法を講じ、尙又呑んだ食物が胃に達せずとも胃液の分泌が出來るか否かを檢査し得る爲めに、食道を途中で切斷して、上の切端を頭の皮膚に縫ひつけて呑み込んだ食物が此縫ひつけた口から外に出る樣にして、種々なる食物を與へて、其際に起る胃液の分泌の狀態を研究した。

△感情と唾液

其結果に據ると犬が食物を口內で咀嚼して居る間に早く既に盛んに胃液の分泌が起る事を見た。加之、假令食物を口內に入れずとも單に犬の目前に持來すか、或は餓えたる犬に肉の香をかゝしたりすると、只其丈で既に盛んに胃液の分泌を呼起す事を確めた。此等の關係は唾液の分泌については特に知られてゐた事柄で、我々が空腹時に美味を想像しても既に唾液が盛んに分泌される事は日常經驗する處である。即ち胃液にせよ唾液にせよ、其分泌には非常に精神の働きが影響を及ぼすものである。ピッケルと佐々木氏とは、パフロフ氏の方法に隨つて手術をした犬について次の如うな實驗をした。

先づ其犬を空腹にして置いて、之れに五分間、肉を咬ますと非常に多量の胃液の分泌が起つた。然るに今、突然そこに猫を近づけて犬を怒らしめた處が、分泌は急に衰へて殆んど全く止んでしまつた。或は豫め短時間猫を近づけて犬を怒らしめた後、猫を去つて犬に五分間肉を咬ました處が今度は胃液の分泌が非常に僅で前の場合の七分の一にも足りなかつた事を確めた。

△胃の運動と感情

斯樣な關係は獨り動物に於て實驗的に確められたのみならず、人間でも屢々觀察された事實である。即ち誤つて烈しい腐蝕劑を呑んだ爲めに、食道が全く腐爛して役に立たなくなつた爲めに、口で咬んだものを、腹に穴を開けて胃まで通した管に依つて胃に送り込む樣な患者について觀察された處に依ると、矢張り食物を咀嚼して居る間に早く既に胃液の分泌が起り、加之、食物を欲しいと思ふと唾液が出ると同樣に胃液の分泌も行はれる事を見た。其際若し患者が怒つたり泣いたり不快に感ずる樣な事があると、胃液の分泌は殆んど全く止つて終ふ。獨り胃液唾液の分泌のみならず胃の運動も又感情に依つて非常に影響を受けるもので、憂ひたり悲しんだりする樣な場合には運動が全く止んで食物が胃に停滯するのである。

△子供と食卓

かゝる關係は我々共の日常朧ろげに經驗に依り自覺して居る事ではあるが、而し輓近に於ける消化

— 106 —
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生理學の進歩に依つて確實に證明せられ、而も精神作用の影響の極めて顯著にして密接なる事は殆んど想像以外である事が判つて來た。此事實は獨り身體と精神との關係を論ずる上に於て非常に興味あるのみならず、又日常の實際生活に於て頗る大切なる意味を持つて居るのである。即ち食卓に臨んでは出來る限り精神狀態を平和に愉快に持つて所謂一家團欒の樂みの間に食事をする樣にしなければ如何に美味を取つても其効果は極めて尠ないものである。不注意なる主婦は食事の場合事更に子供を叱る人などがあるが、之は最も注意せねばならぬ點である。料理の研究の如きも此意味に於て決して無意義な事ではないのであつて、食物の味はひは勿論、色彩の取合せ、香料の善惡等が、直接消化液の分泌に影響し、随つて營養の上に大切なる結果を持來すものである。

女中のトラホーム

工學士夫人　大澤千代子

△女中に療養させる

二年程前大森在から女中を雇ひました。何となく目が鬱陶しいので、念の爲め診察して貰うと、トラホームとのことでした。然しその頃は消毒さへすれば左程恐ろしいものとは思はず、且つこの儘田舍に歸して終へば養生も出來まいからと氣の毒に思ひ、女中に手術を受けさせ、日課のやうに醫者に通はせました。家では勿論手拭や洗面器を嚴重に隔離し、子供達は一切近寄らせませんでした。數ケ月の後「もう全治したから」と醫者も申してくれましたので、稍安心致しましたもの丶、なほ消毒は怠らず致させて居りました。然るに半年程經つと七歲になる長男の目に目やにが出始めました。心配になりますので醫者に連れて行きますと、トラホームの初期だと申すのです。びつくりして私始め子供四人と、他一人の女中とを健康診斷に連れて行きますと、驚くことには私を除いては皆感染して居るとのことで、專門の醫者を撰んで一家族で通ふことにしました。

△苦い經驗の教訓

幼い子供を手術する痛々しさや、飛び廻りたがる子供を抑へて、日に幾回となく按法させたり、目藥をさしたり、その上一日一回醫者通ひをするその煩はしさは、とてもお話になりません。この苦い經驗から、今後女中を置く時は、第一目の健康診斷をして貰ふことに致しました。醫師の話によると海岸近くに住んで居る者には、殊にトラホームが多く、女中などに來る者は十中の八九はこの病に罹つて居るとの事です。

〔一八一評〕

吉岡彌生

▲御大典で、女子教育家が叙勳された中に、吉岡彌生さんの名が見えぬのは可哀想だといふ者がある。だが、もつと深く考へれば、吉岡さんが叙勳に洩れたのは、却つて名譽ではあるまいか。叙勳された人達を見るに、其の親が偉かつたとか、其の夫が有名だとかといふやうに、僻目で見ると、女子教育に對する功勞以外に家柄や身分が其勘定の中に入つてゐるらしい。吉岡さんには、女醫學校の事務を取つてゐられる其主人の外に何等の後立を持つてゐない。しつかりした後立がなく、又其の身分の誇るべき者がないために、叙勳されなかつたとしたら、それは決して吉岡さんの不名譽ではあるまい。

▲叙勳に洩れても、女醫學校をあれだけにして、澤山の女醫を世の中に出したことは、吉岡さんの非常な功績である。嘉悦さんの商業教育、佐藤男夫人の美術教育の功績に決して劣りはしない。然かも後立なしに、あれだけの事業を經營してゐられるのは偉いと申さねばならぬ。

▲吉岡さんは努力奮闘の婦人である。女醫學校には今でも暑中休暇の設けがない。それは夏休みをするなぞは贅澤だといふ吉岡さんの主義からで、あそこの女生徒は夏も休まずに學校の講義を聽されるわけである。

▲これは尠しひど過ぎる主義のやうだが、これを女生徒に強ゆる前に、吉岡さん自身實行してゐられるのだから尊い。働いて休むを知らぬ健康體と、奮闘的精神を持つてゐられる吉岡さんは、日本婦人として珍らしい型といはねばならぬ。（くも）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女湯改良論

三助は女を用ひよ

男も女も神經質になれる現代に婦人が錢湯で、男の三助の前に裸體を曝し、それに背中を流させて平然として居るのは、いかに因習が良心を痲痺してゐるとはいへ、奇怪至極の現象です。斯る惡習を改良せんために茲に名家の意見と記者の見解とを掲載しました。

斯る惡習は昔はなかつた

文學博士　幸田露伴

△溫泉と幕湯

お尋ねですが此を委しく調べますには、風俗を書きました種々の書物或はこれを批判したものを見ますより外はありません。而し只今風呂に關したものを思ひ出して見ますと、溫泉等の中でも伊豫の湯桁等は古く平安朝時代より表はれて居ります。これ等は別段に効能を說きたてたものではありませんが、後には何處の溫泉は何の病氣に効くとか、或はこんな難病が癒つたとか申しまして、溫泉の効果はよく芝居等にも仕組まれたものです。有馬の如きは色々な發達の歷史を持つて居ります。併しいづれの溫泉でも、昔から身分のある人は自分の入浴して居る處を他人に見らるゝのは好まない處から幕湯と云ふものがあつて、一人づゝ入湯したものです。

△風呂と遊女

これより後元祿時代の雜誌や小說には、風呂屋の事が見えますが、これは今日の西比利亞のロシア風呂のやうな設備で其處に遊女の樣なものが居りまして、自然と弊害も多く生ずるものですから、市中にこんな不潔のものを存在させてはいけないと云ふ處から、これを禁じて遊廓の中に移すやうになりました。

△京傳と三馬

普通の風呂即ち錢湯も隨分古くからありまして、只今から百年ばかり前に天明時代の京傳と云ふ人の書いた入込み湯屋淨瑠璃といふものは來湯の樣子を表はした專門的な最も古いものです。これより以後三馬の作である浮世風呂は、德川末期の湯屋の樣子をよく寫して居ります。

この時分の湯舟や流しは今日のとは異つて居りますが大體は凡て湯舟が高くつて、戸棚の上にでも入るやうになつて居ります。又狹い門のやうなもの即ちざくろ口と云ふものがありまして、これに這入るのには腰を屈めて這入らなければならない處から、かゞみ湯などゝ云ふ名稱もつけられました。

湯氣の發散を防ぐ爲めにざくろ口を付けましたが、これが爲めに湯舟の中が暗いものですから入浴して居る人の顏も明瞭と見えませんので、善い稽古場のつもりで大きな聲で淨瑠璃等を語つて樂しんで居るものも多かつたのです。

△東京だけの惡風

當時は三助の外に湯汲みと云ふものがあつて上湯を汲で與れました、これは上湯の亂用を防ぐ爲めで今日でも京阪地方へ參りますと、亂用を防ぐ爲めに小さな窓の樣な處から上湯を汲み出すやうになつて居ります。

今日でも三助を多く用ゐるのは東京に限られて居るやうです。京阪では京極の櫻湯を除く外は殆ど女湯に三助が出入する事が少いやうです。これは一方から申しますと錢を出すのを惜む點もありませうが、一般婦人がひどく男子に裸體を見せることを好まないと云ふ風習から、下婢などに洗はせて濟ませて置くのが多いやうです。

△裸體さへ見せぬ昔

男女入込みと云ふ事は田舍にはありましたが、德川時代から江戸の市中にはありませんでしたから、公に幕府から男女混浴を禁じたといふ事もありません。而し湯舟の底は續いて居ました。古から婦人が他人に裸體を見せるとか男子に洗はせるとか云ふ事は殆ど無かつたのです。純裸體で入浴する事すら好まなかつたものであの湯もじ、湯卷き、湯衣等云ふ言葉の殘つて居るのを見ましても明かであります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

痲痺せる女の心

矢島揖子

△眉がひそめられる

一寸外に出ると、今の日本の風俗は眉をひそめるやうな事計りです。この間も京都の方に出張して見て、今更らに驚くことは、千年の舊都であるに拘らず、少し偏僻な所に行くと、便所の屏の無い所を見受けるのです。京都ですらさうですから、その他の地方は推して知るべしであります。

△男に身體を磨せる女

東京の眞中で、今の湯屋のやうな異樣な風俗が平氣で行はれて居るのは、なさけ無い氣が致します。

私自身はどんな狭い家に住んでも風呂丈けは外に出たくないと思ひ小屋掛けでも家に風呂を置きますが、市中の風呂を覗いて見て第一に驚くことは、男に身體を磨かせて居ることです。それが下等社會のお内儀さんならいざ知らず、良家の奧さんやお孃さんらしいのも居るのは沙汰の限りです。

△裸體でお化粧

それからもう一つ驚くことは、お湯屋でお化粧して居ることです。鏡の前に裸體のまゝで厚化粧して居る樣は、とても此方が耻しくて見られたものではありません。お化粧などは、たしなみ深く行ふべきことで、人に細工を見られぬ處に妙味があるのです、かやうな事はいかにも人々の良心が痲痺して居ることを示すものです。湯屋の設備や何かを變へることは經濟その他に關係して、一朝一夕には出來難いかも知れませんが、眞裸體の三助が女湯に入ることだけは直ぐにも止めて、流しをお三にして貰ひたいものだと思ひます。

私は三助を近よらせぬ

某夫人

△三助に虐待さる

私は都會の手狭な借家住ひや、小人數の生活を續けて居りますので、餘儀無く錢湯に參ります。然し嘗て流しを取つたことはありません。隨分込み合ひますと、桶の無い時や、桶はあつても、三助に足で桶を片寄せられたりするやうな厭な目にも會ひ、且つ一人で脊中を洗ふといふやうな不便もありますので、僅か一錢を出して大威張りで流しを取るのは、その肩身の狭さや不便に比べたらいと安價なことなのですが、どうしても三助を身近に寄らせるといふことが、不快なのです。若い娘さん方が平氣で脊中を洗はせて居るのを見ると、どんな大膽さになつたら、私にもその眞似が出來やうかと何時も思つて見ますが、私にはどうしても厭でそれが出來ません。

△身體の尊嚴を汚される

それでも人が込み合つて居る時はよろしいが、晝間早く行きます時と、一人二人の時があります。その時は三助などが身近に居りますと、いかにも侮辱を加へられた樣に感じ「彼方に行つて居れ」と怒鳴りつけてやり度いと喉迄出ますが、考へて見れば、彼れ等は職業として其處に出て來るのは當然の事です。然し私のやうな者はとても落付いてこんな光景の間に身を置くことは出來ませんので、大急ぎで上つて終ひます。幼い間からこのやうな光景に身を晒らすことに馴れた婦人はわが身體の尊嚴を犯されても平氣でゐられるやうになるのでありませう。實に怖ろしい事です。

宦官と三助

雲舟生

◉昔し支那では宦官といふ者が婦人の閨房に入るのを許された。今の我邦では、三助と稱する裸體の男が褌一つで、女湯にも出入を許され、然かも其の脊中を流すの光榮を有して居る。男の前どころか親にも肌身を見せぬやうに仕込まれた深窓の令孃方も、この三助の前で衣物を脱ぎ、お化粧をなし、又其の裸體に手を觸れられることを何とも思つてゐない。まるで三助は情慾から聖別された仙人か、人情の全くない木石のやうに思はれてゐる。因襲が人の良心を痲痺すると實に甚だしといふべしだ。

◉嘗て某新聞に三助の見たる婦人の裸體美といふやうな記事が載つたことがある。それを見て三助に斯る事を彼是言はれるのを耻辱と感じた婦人が世の中に幾人あつたらう。廉耻を以て生命としてゐる婦人が良心の痲痺することの斯の如きは實に不思議だ。女湯と男の三助、これは現在日本の最も大なる奇習の一つといつて善い。

◉裸體畫などを厳しく取締る警視廳あたりがこれを不問に附して置くとも不思議だ、差當りの改良としては、女湯の三助は女にすれば善いのだが、これは早速履行の出來ること故、次號には之に對する當局者の意見を載せたいと思ふ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

父の製作　五重塔

臼井晃南

愚直なる父の誇り

私の父は大工である。而かも、世間的知識の無い、愚直な非棟梁的な大工である。過去の父からは何の尊敬すべき事柄をも見出し得なかつた。然し乍ら、唯一つ彼の誇りがあつた。其は彼の技術である。

彼は私達に云つて聞かせた。自分の十六七の時は、日光三佛堂の仕事をした。某の宮の本殿、某の寺の本堂、某の天王樣の御神輿は己のやつたものであると。然し其等が事實であつたにしても、私達實見せぬ若いものゝ耳には、餘り偉さうには響かなかつたのである。

此愚直なる父が、今春東照公三百年祭記念にとて、日光五重塔の二十分一を製作に取り掛つた。

露伴の「五重塔」と

未だ霜柱の立つてゐた我家の庭前に、眞黒な泥溝板にでもしさうな檜材が運ばれて來た時は、如何なる事かと心配されずにはゐられなかつた。お宮大工だとて威張つてゐる近所の知合ひの者共も「エへ……、なか〲」と天から受合なかつたのである。

それは丁度、曾て愛讀した事のある露伴の傑作「五重塔」に描かれた愚直な大工「のつそり十兵衛」が、親分「川越の源太」と競爭して上野の五重塔を請負ふと云ふ時、周圍のものから嘲笑はれたやうなものであつた。

「十兵衛」とわが父

父は「のつそり十兵衛」の如く大風の日にぐら〲搖ぐ五重塔に乘れる程の大膽な人間ではないけれども仕事に熱心で自信の馬鹿强い事は、殆んどそつくり似てゐる。十兵衛が嘲笑と迫害との中に着々仕事をして行つたやうに、愚直なる私の父は、周圍の者の不安なる目を甘受しつゝ、默々として、鋸と鑿とを動かしてゐた。

間も無く一重の胴が出來、桝組が組上げられた。私達は、日頃の父の誇の腕前を、少しく認めてやらずにはゐられなかつた。

軈て又二重目が積み重ねられた浴衣がけでひやかしにやつて來た前の宮大工も「成程」と首をひねつて歸つて行つた。

出來たら拜む樣

初秋の夜、ひとり寢床から起き出て、三重まで重つた白木檜の彼の製作品を、默つて眺めてゐる父を見出す事は、一度や二度ではなかつた。其頃はもう、私達の父の腕に對する不安は取去られて、只管五重塔の完成の日を待つ樣な氣分になつてゐた。

父の鑿は豫期したより進んで行つた。「之りあ、出來上つたら拜む樣になる」と、先に嘲つた人が眞面目な顏して、完成に近い五重塔を半日眺めてゐたのは、つい此間の事である。

十ケ月の血と肉

今や九分九厘まで出來した。白木檜の神々しい五重塔を見る度に此れが愚かな父の手に依つて作つたのかと疑はれる位である。それは慥かに一の藝術的製作であると私は思ふ。今日迄滿十ケ月間の父の血と肉とが、此五重塔一つに打込まれてゐたのだと思ふと、私の頭の中では、父が五重塔か、五重塔が父か解らなくなる。

昔は「のつそり十兵衛」の如き者をも見拔いて拾ひ上げた高僧があつた。今の世でも愚直なる父の腕を買つてくれる人があつたら父は死んでも本望だらう。

小兒の死亡（一）

内閣統計官　二階堂保則

▼我國のみ多くなる

統計上から見ますと、小兒の死亡に就ては、歐羅巴諸國と日本との間に、著しく異つた點があります。昨年來大戰亂後の事は勿論判りませんが、大戰前の歐洲では、生産率が減少すると同時に、一般死亡率乳兒死亡率も同じく減じてゐた。然るに我國に於ては、生産率も現には減少せぬが、一般死亡率も相變らず減らず、寧ろ幾分か多くなる傾向さへあつて而して乳兒死亡率は增加しつゝある。是れ誠に寒心すべき事であります。

▼國民衛生の發達

歐洲諸國の生産率の減少する原因は別問題であるから他日に讓り佛、獨、英三國の死亡率の減少し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た原因を探つて見ると、全く國民衛生の發達に歸さねばなりません特に注意すべきは、小兒及び中年者の死亡が著しく減少した事であります。生れる事が少なければ死亡する割合が少なくなる。それも一面の理由ではありますが、主としては幼少なるもの丶保護が行届くやうになつたのが何よりも小兒死亡を減じた原因であります。

▼英獨佛の乳兒死亡率

獨逸に於ては嘗ては、生産千人に付一年未滿で死亡するものが三百人以上に達したことがある、獨逸聯邦のバイエルンに於ては、或時は四百人の多きに上つた事もありました。然るに今日に於ては、千九百十二年の統計に依ると、百四十六人に減じてゐる。之を英國に見ると、英國では著しく乳兒死亡率の高かつた事はない樣であつたが、今から四十年以前には百六十人の割合であつたものが、今や僅々九十人内外に減少してゐます。佛蘭西は生産率が非常に減少した國であるが、四十二年前には生産千人に付百八十人一年未滿で死亡したけれども、今や七十八人と云ふ極めて低い死亡率を示してゐます。

▼増加しつゝある我國

翻つて日本に於ては如何と見ると、我國の此統計のあるのは明治廿一年以後の事であるが、同年には、前申した一年未滿で死亡するものが生産一千人に對し百十人であつた。然るに明治四十三年の統計に依ると百六十一人に増加してゐます。即ち、歐洲諸國では減少しつゝある間に我邦では約五割の乳兒死亡率を増加したのであります。何故にかゝる相違を見たのであるか、須らく講究を要する重大事です。

▲母親を工場に奪れて

先づ獨逸の乳兒死亡が、何故嘗つて其樣に多かつたか、其原因を探つて見ると、丁度千八百七十一年、獨佛戰爭の結果、佛蘭西から莫大なる償金を得た獨逸は、其迄農業本位の國であつたが、時代の推移、六ケ敷く言へば社會組織の文化的變化によりて盛んに工業が起つたので、國民の中、働ける年齡のものは男女を問はず工業に働く事となり、子を護り育つべき母親たる女も又工場へ赴くと云ふ有樣となりましたので、自然子供の養育が等閑に附せられて來た、之其一原因であります。

▼人工的養育の弊害

また歐洲諸國は、日本と違つて母親が直接に哺乳せしめて小兒を育てる事をせずに、獸乳を與へて育兒する習慣があります。此人工的養育法が乳兒の死亡率を高くしてゐた、原因でありまして、千八百七十一年から同七十五年までの五ケ年平均の乳兒死亡率は生産千人に付三百四十四人の多きに上つたことがあります。此事實に驚いた獨逸當局は之は容易ならずとあつて、乳兒保護の法令を定めたり其機關を設けたりして、養育の不完全を拯ひ人工營養の改良等を圖つた結果、今日の如き目出度き減少を見ることになつて來たのであります。

日當四十錢

岩野清子氏の證人として出廷せる記

◎讀賣新聞在社中に、岩野清子氏の別居事件に付き、同氏宅を訪ひ、泡鳴氏夫妻同列で、別居理由を聞かされた緣故から。大分八釜しくなつた同夫妻間の法律上の爭ひの證人として、十一月廿六日午前九時東京地方裁判所民事第二號法廷に出廷せよと云ふ達しを受けたのは其の三四日前の事でした。

◎「試驗でも受ける樣な氣がするだらう」と云つた雲舟先生の言葉は、未だ一度も法廷に立つた事のない私の心を、よく言表はしてゐた。

◎法廷の廊下で清子氏に會つた時、裁判所からの通知に「日當金四十錢」と書いてあつた事を話したら、毎日證人に出て來ては何うですと笑つてゐた。何れ其四十錢を貰つたら、泡鳴氏夫妻の間に生れた、可愛らしいお子さんに、飴でも買つてあげたいと思つてゐるが、未だに其高價な日當を貰はない

◎刑事と異つて民事の法廷は、其程居心地の惡いものではなかつた。河邊裁判長の明るい圓滿な顏と、溫かみのある訊問の言葉とは、證人として立つた私の心を、少しも脅迫しなかつた。想像してゐたよりも冷靜なる態度で、一々記憶の絲を手操つて、しつくり自分の心に合つた事を答辯し得たのは、全く裁判官の氣の置けぬ打解けた態度からであつたと感謝してゐます。

● 私の答へた事實が清子氏を利するか、泡鳴氏の爲めになるか何れにしても、此事件を正當に裁判する上に、幾分寄與する所がないではなかつたらうと思ひます。(晃南生)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

寄生論（二）

（シュライネルから）

雲舟生

結婚の祝辭は惡口

昔から子供の多いことは兩親の誇であつた。二十人の子供があるとして、それが皆勇者となり、勞働者となれば、其の兩親は子供がない者よりも富且つ勢力があるのであつた。其故昔の母親にとつては、子供を育つることは、其の最も高尚な義務であつた。所が今や全く形勢が一變した。

子供が澤山あつては、それを育てることが出來ない。又其の子供か一々成人しても獨立の生活を營んでゆくことが出來ない狀態になつた。それ故に結婚の日に「生めよ、殖えよ」といふのは、祝辭ではなくつて、惡口のやうに考へられて來た。昔のやうに、二十人の男の兒と二十人の女の兒を御生みなさいなど丶言はうものなら、花婿花嫁は、そんなに澤山な子供が出來たら、どうして喰はせてゆけるものかと泣き出すであらう。

其故に子供を育てるといふことは、子供を育てるだけの脊力ある人にして初めて行ふことが出來る特權のやうに思はれる時代が近づいて來た。生活の窮迫は實に怖ろしい現象を持ち來した。子供を生む力のある女が一生石婦で終らねばならぬとは、何んたる悲慘な事であらう。併し子供を生まずとも、男女の關係を禁止することは出來ない。其のために幾多の忌はしい現象を呈するやうになつた。子供のない家庭、子供を制限する家庭が歐米に於て非常に多くなつたのは實に其のためである。一方に於て人口問題は其のために八ケ間敷く唱へられるやうになつた。

けれども女が昔のやうに唯母たり妻たることを以て、一生を終ることが出來ぬ社會の狀態をどうすることも出來ない。今を昔に返す方法はないので、どうしても女は新らしい社會狀態に適應するものとならねばならぬ。斯る適應を試み、新らしい安心立命を獲る路を拓くのは、女の權利である。

寄生生活の屈辱

昔は女が男に寄生するといふことは極めて稀であつた。一方に男に食はせてもらうやうな寄生階級があるかと思ふと、他方には男以上に働くやうな刻苦勉勵の女の階級があつた。婦人の寄生は全體として少數であつた。

然るに今や勞働は凡て機械でする世の中になつた。男だけ働けば女は手出しをする仕事のないやうな狀態になつた。然らば昔のやうに母たり妻たる家庭内の仕事に歸ることが出來るかといふに、それは生活の壓迫が許さない。母たり妻たる仕事は生活の壓迫から出來ず、又勞働の仕事は男の手だけで澤山とすれば、女は勢ひ寄生的生活に陷らねばならぬ。即ち、淫賣か妾か床の間の飾りの妻といふやうなものになつてしまふ。即ち受働的な生殖機關、肉慾滿足の道具になつてしまふ。

斯る婦人の寄生的狀態は嘗て見ざる現象である。斯る屈辱な生活から女を救うにはどうしたらよいか。これは女のためのみならず、人類の文明のために解決せねばならぬ大問題である。

偉い人と小鳥

巣鴨村人

春の日に四人の人が馬に乘つて田舍路を歩いてゐました。其の人達は辨護士で、隣の町に開かれる裁判所へ行くところでした。雨が降つたので、土が泥濘つてゐました。滴水が樹から落ちて、草が濕つてゐました。

— 112 —

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

四人の辯護士は路が狹くつて、泥濘がひどいので、一人づゝ行列して、喋舌つたり、笑つたりして馬を進めました。

小さい森にかゝると、頭の上ではた〳〵して、路側の草の中に微かな鳴き聲が聽えました。「チ、チ、チ」と上の樹の枝から聲がしました。

「チー、チー、チー」と濕つた草の中から聲がしました。

「何だらう」とスピードといふ辯護士が言ひました。

「駒鳥か何にかだらう」とハーンといふ辯護士が言ひました。「暴風で二羽の雛を吹き落されたのだらう。まだ飛ぶことが出來ぬものだから、親鳥が心配してゐるらしい」

「可哀想だな、草の中ではどうすることも出來ぬだらう」ともう一人の辯護士が言ひました。

「なに、鳥ぐらゐどうでもよいさ」とハーンが言ひました。「氣に留める程のことでもない」

「成程、さうぢや」とスピードが言ひました。

三人が通り過ぎながら、下を見ますと、小さな雛鳥が冷たい濕つた草の上にころがつてゐました。母の駒鳥は飛び廻つて、其の伴侶を呼ぶのでした。

辯護士達は前のやうに喋舌つたり笑つたりして、行き過ぎました。間もなく鳥のことは全く忘れてしまひました。

所が尙もう一人の辯護士であるアブラハム・リンコーンは立ち止つて、馬から下りて、小さな二つの雛をその大きな溫かな手に取りあげました。雛鳥は拾ひ上げられて驚きもせず、もう大丈夫と思つたらしく、やさしく聲を立てました。

「心配するなよ」とリンコーンが言ひました。「お前達の小さな寢床に入れてあげるからな」

リンコーンは雛鳥の落ちた巢を見上げますと、高い〳〵木の上でした。

けれどもリンコーンは木登りが上手でした。子供の時には能く木登りをしたものでした。

やがてリンコーンは溫かな小さな家に雛鳥を入れてやりました。巢の中には落ちなかつた雛鳥が二つ居りましたので、四つの雛鳥が一緒になつて、嬉しさうに鳴きました。

前に言つた三人の辯護士は泉の側へ止つて馬に水をやりました。

「リンコーンは何したらう」と其の一人がリンコーンのゐないのに驚いて言ひました。

「何んでも先刻の小鳥の側に立ち留つてゐたらしかつた」とスピードが言ひました。

やがて間もなくリンコーンがやつて來た。其の靴は泥だらけになつて、衣物は棘の樹で破れてゐました。

「やあ、リンコーン」とハーンが言つた。「何處にゐたのですか」

「私は雛鳥を母鳥の許へ返してやるために一寸あすこで馬をおりたものですから」とリンコーンが答へました。

「あなたは偉い人だと思ひましたが、成程さうですな」とスピードが言ひました。

三人は腹を抱へて笑ひました。偉い人が取るに足らぬ小さな鳥を救けるなど馬鹿らしい氣がしたからです。

「あなた方はさう言ふが」とリンコーンが言ひました。「若し私があの可哀想な小さな駒鳥を濕つた草の上に棄てゝおいたら、私は今夜睡ることが出來なかつたでせう」

アブラハム・リンコーンは辯護士としても、政治家としても、次第に有名になつて、遂に亞米利加の大統領に選ばれ、ワシントンに次ぐ偉い人になりました。

子供の智慧

子供の宗敎心

お母さんが遠來のお客樣に御飯を差し上げました。お客樣は早速頂きますと云つて、御箸を取りあげなさいますと、側に見てゐた今年六つになる信一さんが突然、お客樣の手にすがりつき、「神さまに御禮を申さねば、喰べさせん」と言つて、どうしても聽きません。お客樣は神さまにお祈りすることなど少しも知りませんので、大層閉口して、一座大笑ひを致しました。（高、郎）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説　奴隷（其五）

松本雲舟

九

敏子はそれから暫く政雄の宿へ來なくなつた。政雄から手紙をやつても、いつも其の返事がおくれた。葉書であつさり五六行書いてくることもあつた。政雄は氣を苛立てたが、

「自分の感情を人におひかぶせるのは善くない」と想ひ返して、其儘にしておいた。

草の芽生は青々として、樹にも緑が多くなつた頃、敏子の姿は想ひがけなく、政雄の宿に現はれた。政雄はいそ〳〵と敏子を迎へた。敏子の顔や手は來る夏の光に其の皮膚が透いて見える樣であつた。

敏子はいつになく居ずまひを直して坐つて居た。政雄がなれ〳〵しく口を利いても、心を打開かぬのであつた。

「今日は眞面目にお話しすることがあつて來ましたの」と敏子は打向きながら言つた。手には白いハンケチを弄つてゐた。

「お話しなさい」と政雄は直ぐ其の言ひ出されることを直觀するやうに、「私はあなたの友として伺ひます」と言ひ加した。

「井ノ頭でお話し仕かけた事」と敏子は言ひにくさうに、「あの話が事實となつて現れて參つたのです」

「では、なんですか」と政雄は流石に胸が轟いて、「先方の人があなたに求婚でもしたのですか」

「え、さうです」と敏子は斷然と答へた。「私はさういふ事を待望んではゐませんでした。たから、あなたに御頼りして來たのですけれど……併し私の心の奥底には、あなたに謀叛する或るものが隱れてをりました。それは、なんと申しませう、小さい時に私の心に入つた想ひ、それがどうしても、ついて廻つて妨げて來ましたのです。私はその想ひを消さう〳〵と、どれほど苦心したか知れません。でも、どうしても駄目でした。井ノ頭であなたに御打開けした時には、もう〳〵さういふ想は今日限り棄てやうと決心したのですが……」

「一體先方の人は誰です」と政雄が問ねた。

「私の郷里の者で」と敏子は臆せずに、「もう、恁うなつては何もかも打ち開けます。小さい時から知つてゐました。能く一緒に遊んで、泣かされた事もありました。子供仲間で、夫婦のやうだと能くかまはれました。別に約束した覺へはないのですが、私の心には、其人が深く入り込んでしまつたのです。ですが、先方では、今まで少しも私を顧つてくれませんでした。時々遇うやうな事があつても、それは冷淡でした。あなたに較べたら、十分の一も百分の一も私を想つてくれはしなかつたのです。けれど私はどうしても…………」と敏子は漸く言つたが遂に咽び泣いて、ハンケチを顔に當てた。

政雄は初戀にかくも囚はれたこの少女を可憐に想つて、其の背を撫で〳〵やりたくも想つたが、今はもう其時ではないと斷念めた。

敏子はやがて顔を擡げて、語を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

次いだ。

「私は實際あんな者をと想つてゐたのですが、それは理性の上の事で、情に於てはどうしてもそれから遁れることが出來ませんでした。でも、私のこの想を先方に打ち開けた事はございません。男から想はれぬ以上、女から打ち開けるなど、私にはどうしても出來ません。私は十年間もさういふ想ひに惱まされましたのです」

「それは面白い經驗ですな」と政雄は漸く口を開いた。「十年間も想つてゐて、先方に知らさぬなど、實に珍らしい事です。女の自尊心はかくありたいと想ひます」

敏子は政雄にどんなに怨み憎まれるかと怖ろしく想つてゐたのに、政雄が尠しも私心を差挾まぬやうに見えるので、漸く胸をなでおろした。

慰安録

精神上生活上種々御煩悶のある方は何卒御投稿下さい、御力添へになりたいと存じます。

斷食して死せんとした私の經驗

秋子

△品行上病的な夫

私は可成り名望ある家の妻で世間からは幸福の身と仰がれて居りました。然し身一つに納めた苦悶は並大抵ではなかつたと申せば、略お察しもつきませうが、夫は手腕あるにも拘らず、多少品行上には病的と思はるゝ程で、世間の男のやうに外に遊ぶといふよりも、内々で常に疚しいこと斗り致して居りました。これも自分が足らぬ故と初めは務めても見ましたが、遂には全く夫婦の愛情もない家に、只衣食さして貰ふやうな甲斐ない生涯を悔み、出家しやうと寺に逃げ込みました。然し寺の高僧は「それはあなたの身に着いた運命故、何處でどんな事をしやうとも、それを逃れる事は出來ない、いつそ歸つて佛に仕へると思つて、その男をいたはり助けてやれ」と申されましたのに、一念發起して再びその家に歸りました。夫の方では私に全く愛情が無いと云ふのではありませんが、依然として惡癖は止みません。

△遂に死を決す

私は初めと違つて夫に仕へるといふよりは、佛の御用をするといふ氣持ちで日々働らいて居りました。運命の手はなほも私を試みやうとてか、この冷たい境遇に深い同情を寄せて、慰め暖めてくれる人がありました。嬉し有難しと思ひました。私は萬事を葬らうと自殺を企てましたが、家名を思へばそれも出來ず、思ひ煩ふ中、一策を案じ、終に病氣と稱して斷食を企てました。絶食五日に及んで私の精神は愈よ爽快に、肉體は弱るなどは一向に覺えず、過去を葬つて、新らしく自由の天地に生きる事斗り喜んで居りました。醫師はこの病人に食事の取れぬことはないと申しますので、家内の者は怪しんで、手を代へ品を代へて尋ねますが、一切語りませんでした。早く實の父母に別れた身は只一人のなつかしい叔父があるのみでしたが、その叔父が遠方を訪ねて來て、涙と共に諫めた言葉に絆されて、終にまた生くるといふ望みを起しました。

△靈肉共に蘇る

其後は遣らぬといふ夫の家を無理に離縁して、肉にも、靈にも新らしく生きたいとの望みを起して居ります。そして半生に失敗した私は、せめてその失敗の歴史を提供して、婦人問題の解決に資したいと思ひますが、高等女學校も中途で止した私、殊に自活せねばならぬ私に、これから學んでその望みが達せらるゝ折がございますでせうか。

▲さういふ不幸な境遇から脱して、靈肉共に生きやうとなさるあなたの健氣な心を嬉して想ひます。どうぞ當初の決心を貫徹して下さい。あなたが自己を確立して世を益するやうな意義ある生活を送られたら、其の中にはあなたの御主人が悔改めなさる時機が來るかも知れません、來ませんでも、あなたの生涯は失敗ではありません。（記者）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生きた鶏卵と死んだ鶏卵（上）

（胃腸病者としての余が養生法承前）

九十九里片貝　松濤園主の鶏卵談

私が前號の誌上で友人の談として紹介した鶏卵の話に就て其の當人たる九十九里片貝濱の松濤園主引田久次郎氏から稿を寄せられました、引田氏は私と同じく早稲田の文科出身で本誌主任松本雲舟君とは同期の卒業です、其後本郷の美術學校に教鞭を執つたのが、一朝飄然九十九里海岸に去つて養鶏に從事する事已に六年、學理と實地の研究を積み、造詣深く、自ら日本一の養鶏家を以て任じ、仲買の手を經ずに、直接に東京の個人に鶏卵を供給し其の卵の質の上等なる事は私が親しく經驗して四五人の友人にも紹介しましたが、皆な其の優良なる事を賞して居ます、就て左に引田氏の寄稿を紹介します。（海田斬雲）

△病人と鶏卵　病人などに營養を目的として玉子を用ゐる場合、其の良否且つ新鮮であるかないか位一見して見分ける位の知識はあつて欲しいと思ひます。

お醫者さんは患者の病後などに牛乳や玉子をすゝめますが、其患者の買つて食べる玉子はと云ふと東京橫濱なら

△多くは上海卵　と云つて、支那の揚子江沿岸一帶の地で産出されるものを上海に集め、そこから日本へ輸入したもので、近頃はそれ以外露領亞細亞や、關東州からも來ますが、遠く海山越えてあの腐敗し易いものを骨を折つて輸入するので、寒い時分はまだしもとして、盛夏の候には腐敗卵も多く、甚しい時には一箱三百個詰の中で半分以上。

△時には全部腐敗　して居ることさへあるのです。こんな玉子を滋養だの營養だのと云つて、生や半熟で鼻を摘みながら、「何うも玉子の臭氣が厭だ」など丶愚痴を云ひながら食べて居るのですから溜りません。胸は惡くなる腹は下る、患者は勿論お醫者さんも首を傾けて考へ込むが一向分らない。其原因はと云ふと其の食べた玉子が祟りをして居たと云ふことは珍らしくないのです。

支那より我が國へ來る玉子は、年々其の數約一億、この價格百五六十萬圓に昇るのです。夏季は一時輸入が絶えますが、日本の商人は春季卵價の安い時分の上海卵を冷藏庫に入れて置きまして、それを盛夏の候に市場へ出します。これ等は無論内容に變化を來して居るもので、一種厭ふ可き臭氣を持つて居ます。

△死んだ玉子と生きた玉子　一體玉子は、産れてから三週間位迄は雛に孵化する力があるのですが、日が經てば經つ程卵の孵化力は弱くなるのです。即ち卵の生活力が弱つて來るのです。生や半熟で食べるには成る可く新らしいものの方が好いのです。ところで何んな玉子が上海卵で、何んなのが内地卵であるかとか、或は古いのと新らしいのとは何うして見分けるかと云ふに

△支那より來る玉子　は多くは粒が小さく、色は赤黑く、一寸カワラケ色をして居ります。これは上海邊から參ゐりますもので、關東州邊から來る品は、これより一層色が濃く、稍々紫がゝつて重苦しい色合です。二つに割つて卵黄の色はと觀ると、濃い赤黄色を呈して居ります。内地卵にも、一寸鑑別の付かない位、外觀内容のこれに似寄つたのもありますが概して言へばこゝらが支那玉子の特色です。では、

△内地卵の特徴　はと云ひますと少々嚴密に過ぎる見方ですが、確實に間違ひなく見分けることの出來る點は、第一卵殼の色が白いこと、第二黄味の色が山吹色を呈して居ます、支那玉子の樣に色が濃厚でありません。この二點に注意すれば十中八九は確實に見分けることが出來ます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

クリスマスの贈物

△内地製が尠ない

日本從來の歳暮、年始の進物は古い慣例によつても色々な思ひ付がありますが、クリスマスの贈答品は成る可く新らしいものをと思つて選定する處から丁度適當のものを選び出すことが困難であります。これに就て銀座の敎文館で聽きますと、例年に變らず舶來品のカード或は文房具等澤山見えて居りましたが、反つて輸出向きの内地産のが少ないやうでした。これは製造家の方で戰爭の影響を恐れて小賣等では賣れなからうと云ふ處から案外少なかつたのださうです。

△錦繪の暦や文房具

今クリスマスの贈答品に適して居ると思はれます、數種のものを擧げますとカレンダー即ち錦繪を縮寫して暦に張つたり、或は掛物額などに造つたのが本年の新らしい工夫でせう。價は十錢位からで古畵そのまゝを寫し出した技巧が中々よく出來て居りました。カード及び舶來繪本等は五錢位から洋書の名畵集又は刺繍等には美しいのが澤山あります。近頃箱入の文房具等實用向きで三十五錢位からありますから比較的多く賣れるそうです。萬年筆等もいゝでせう十四金のペン先き付きで一圓五十錢位からあるそうです。この外玩具類にはキユーピー（三十錢乃至三十五錢、英字の組立玩具（十五錢）聖書カルタ（十八錢）等中々人氣があるやうです。又布に印刷した美しい色摺りの繪本等は永久的で幼い子供なんかには最も喜ばれるものだと思ひました。内地製ならば十錢位ひ舶來品ならば廿七八錢止りです。

和洋の書物も專門的のものはあまり用ひませんが宗敎、文學に關する代表的の作品は少し程度の上の人々の進物として用ひられるそうです。

火の用心

之から火事季節

注意すべき事共

十二月から翌年三月までは火事季節でありますから、消防當局者は特別の注意を拂つて警戒いたします。我國の如き、防火設備の不完全な國に於ては殊更一般家庭に於て自家の爲め他家の爲め、大いに火の用心をなさねばなりませぬ。

▼炬燵の使用に注意

毎年繰返される注意ですが、一番恐ろしい火の元は、之から盛んに用ひられる炬燵であります、炬燵も唯あたつてゐる分には、さう危險はありませんが、足袋や襁褓の如きものを洗つたのを乾かす爲めに、落ち易い炬燵の格子の上に乘せ置く事は甚だ危險です。置炬燵を入れたまゝ寢て終うのは衞生上宜しくないと共に、恐しい火の元となり易い危險を持つて居ります。

▼電氣あんかは最も危險

此頃、燈火用の電氣を布團の中に入れて、暖を取る事が下流社會に流行して居りますが、之は電球が破裂して出火する事があります から甚だ危險です。記者の知人は子供の寢床の中に電球を入れて暖をとらせた處が、子供の寢卷が黑焦になつたので非常に驚いたさうです。冬は室内を密閉しますから特に瓦斯の漏洩に注意すべく、漏電等も氣をつけなければなりません。お臺所で薪炭を用ふる御家庭では一層火の種に要心される事を怠つてはなりませぬ。

新刊紹介

不文律 （坪内士行氏譯）

ドストイスキイの作「罪と罰」をアーヴィングが脚色したものを、新歸朝の坪内士行氏が譯されたのが本書である。脚色者と譯者とは親養の間柄であつたのだから、勿論文字以上の意味合まで譯する事が出來たらうと思はれる。この深刻な人生の一面を見せた芝居が日本に上場される日の近からんを望む。いや、この芝居を見て其の機微な意味を理解し其處に人生の一大教訓を得るほど、我邦一般の士女の頭腦が啓發されんことを望まざるを得ぬ（定價八十錢牛込區南北社發行）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

寒い時の皮膚の注意

小口みち子

▼東京の風土は荒い

一口に向寒の化粧の注意と申しても、昨年から今年にかけては、クリーム等を用ひて、皮膚の荒れない樣にと申して居りました。一體婦人は裾を冷やすと皮膚が紫色になつて、化粧しても變な顏になりますが、之等は暖かい樣に仕度すれば直るとしても、東京は大邊風土が荒いから、風土の溫和な所から參つた方でも、五六年すると皮膚が荒れて、美しかつた生地が淺黑く見惜くなりますから、餘程皮膚を保護しないといけません。

▼クリームと室内の濕氣

皮膚を保護するには、先づ第一に乾燥させぬ樣に注意せねばなりません。それにはよいクリームを撰んで常に用ひる事を努めなさいまし。よいクリームと申しても、舶來と限らず、和製でもよいのがありますが、このクリームの撰擇は美顏術專門の人の公明な判斷を待つた方がよいでせう。今一つの注意は室内の空氣をしめらせて置く事です。室内の空氣が乾燥してゐると子供の咽喉等が犯される樣に婦人の皮膚も犯されますから、常に室内に水蒸氣を立たせて置かぬといけません。

▼室内を乾燥させぬ法

風の吹きます日や朝起きて顏を洗ふとピリ〳〵する樣な日は、特に皮膚の保護に注意せねばなりません。室内を濕らせると申しても別に大した設備等を要するのではなく、唯鐵瓶の湯を煮立たせ加減にして置くか、ストーブの上に水を置いて水蒸氣を立たせて置けばよいのです。之れは衞生上も有益ですから、夜分休みます時でも、幾らか水蒸氣を立たせて置くとよろしうございます。

▲肌を外氣に觸れるな

尙は之れからは、赤肌を外氣に觸れぬ樣、注意いたさねばなりません。お白粉だけでは皮膚を荒されますから、クリームを用ひて、決して直接外氣に觸れさせてはいけません。よく錢湯にいらしつて唯一寸お白粉をつけた丈で、家まで外の風に吹かれてくる人がありますが、之は大邊惡い事です。矢張りクリームを塗つて後、お化粧をしてから外に出る樣にいたしたいものです。も一つ肌の手當として、お湯から出た時、濡れた手拭で拭つたばかりでなく其後をガーゼの如き乾いたもので拭つてから、お化粧なさるとよろしうございます。炭火に直接あたる事は最もいけません。最後に、化粧水やお白粉やクリーム等は、廣告等にのみ信賴せず、其人々に適當したものを見出される樣、御自身で十分研究される方がよいと思ひます。

お正月の仕度

種々な整理

迎年の準備の第一は、其年の家計簿と書類、家具と云ふ樣なものの整理でございます。整理が終りましたら第二に春着とか、年末年始の贈物の選定をいたします。そして第三に

買物と訪問

をします。此れ等の事は遲くも廿日前にして、それから後はお節やお重詰やお飾り・門松等を致します。もし此の手順をあやまりますと、然うでなくてさへ年末の忙しい時に一つの事を二度くり返したり、事に行當つてまごつかなければなりません。

先づ第一に、年末に整理しておからければならない事は

家計簿の整理

で、一年中の收支を細目に渡つて統計に取つて見て、來年度の豫算をたてます。次に書類の整理を致します。一年中に受取つた請取書や、手紙、葉書を月々に區分して置いたものを紙で包んで、何年度の手紙とか、請取書とか云ふ樣に表書をして一纏にします。請取書の中で月々定まつて居る新聞とか電氣、瓦斯等のやうなものは、月々の區分の中に入れないで、別にして置くのも良うございます。そして其れ等の中で、特に他日必要であるといふ樣な手紙とか、請

取とか云ふ様なものは、何年度必要書類として別に一纏にしておきます。又全く不要な書類は、燒きすてるなり、手拭紙にするなり、女中達の手習紙や鼻紙（差支へなきもの）に渡します。次に

貸借物を整理

して、借りた物は返し、貸した物は適宜にうけとります。それから煤拂をして、障子を張りかへ、破損した箇處を修理して、不要な品物を始末し、補充すべき家具を書きとめて置きます。次に

年賀狀

を書いて廿五日前に特別郵便に出します。知人の名簿は常に主婦の手近な處に供へて置いて、お正月賀狀を受取つた時と、夏暑中見舞を貰つた時とに、一應改めて置くのは勿論の事で、移轉通知のあつた時には、直ちに書きなほしておきます。斯うして整理が濟みましたら家内の

春着、雇人の仕着せ

の品の撰擇や價格の標準を極めてそれ〴〵縫ふものは縫ひ、縫はせるものはそれ〴〵の運びにします。足袋下駄の類の細かいものは書留めておきます。次に年末年始の贈り物を撰擇します。前年の年末年始の贈答品の控を見て、前年と同じ樣なものでないやうにして、先方のよろこぶ樣なものを考へて、書きとめておきます。又、常に無沙汰して居る家で、年内に是非訪問しておかなければならない樣な家や、自分で年末の贈物を持つて行く家を書きとめます。此の撰擇が終りましたら、訪問と買物に出ます。歳暮はなるべく

主婦自身が訪問

するのがよいと思ひます。尤もしつまつて行くのは考へものですが、前にあげた整理と撰擇とを早くして、廿日前に短時間の訪問をするのなら、訪はれた方でも迷惑ではありますまい。

買物をするのには幾度も一つ處に足を運ばぬやうに、とりまとめて一度出懸けてすます樣にします。訪問すべき處は訪問し、買ふべきものは買ひましたら、お餠を切つたり、鏡餠を供へたり、お飾や來客用のお重づめをこしらへます。そして靜かに、さつぱりとしてお正月を迎へます。

家庭小言

雲舟生

わが家の附近、畑は忽ち變じて貸家となる。一夜造りの建築のいつ出來せるかと驚かるゝばかり也。かくて郊外生活の清閑は家主を業とするものに侵害せらる。然も彼等が家を建つるや、借屋人の便宜を眼中におかず、狹き場所に間數多き家を建て、唯家賃の多からんことを望む。其の庭たるや殆んど猫の額の如し。されば一本の樹、一莖の草も自由に育つこと能はず斯る貸家に住まねばならぬ借家人の憐れさよ。家主道德の守られざる近來殊に甚だしきを覺ゆ。

主婦の手帳

▲煤拂

春秋の大掃除があつても、十二月の煤拂は是非念入れにして、新しい年の來るのを迎へたいものです。煤拂に就ての注意事項を記して見ませう。

▲疊

煤けた疊は始め熱湯で絞つた布で拭き、次に修酸十匁を湯一升位に溶いた液を柔かい糸瓜に浸ませて拭きます。その次に清水で絞つた布でふいて最後に薄い曹達水で拭いて乾いた布で水氣のなくなる迄拭いておきます。

▲花莚

花莚は濡れたものを使はずに、揮發油をしみこませた布で拭いておきます。

▲絨氈

絨氈は硼砂十匁位を湯一升の割合で溶き、その中に酢を小盃一杯位を加へて布に浸しゆるく絞つて、毛並に逆つて一方から順よく拭きます。それから清水で絞つた布で同じ樣に拭いて後、乾いた布で拭いて陰干にします。

▲石鹼洗

板戸、ペンキ戸の樣なものを石鹼洗をするのには、先づ汚れた處を湯でよく濕しておいて、刷毛か糸瓜の樣なものに石鹼水をつけてよく擦つて洗ひます。汚れが落ちたら湯でその石鹼を洗ひ落して、布でよく拭いておきます。

▲灰汁洗

天井、格子戸、白木の塀等を灰汁洗するのには、洗はうとするものを湯でよく濕して置いて、湯一升につき炭酸曹達二匁の割で溶いて藁だわし又は草箒につけて木の目の通りに擦ります。次に湯で灰汁液を流し去つて後水に食用酢を入れ、一寸酸味のある位にこしらへて、それで洗ひます。そして布で拭つておきます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人の聲

□電車內の喧嘩

滿員の電車の中で、三十ばかりの女が五つばかりの女の兒と並んでかけてゐましたが、其の女の兒は成人ほどの場所を取つてゐました。其處へお婆さんが入つて來ましたが、其の女は子供を片寄せるか、抱くかして、お婆さんに席を作つてやれば善いに、知らん振をしてゐましたので、其の隣にかけてゐたお爺さんが起つて、其のお婆さんに席を讓りました。それからお爺さんは、其の女に向ひ「このお兒さんの電車代は拂つてゐるのですか」と問れると、其の女は「拂つてゐません」と答へたので、お爺さんは「では、抱いて下さい、私が其處へ坐るのだから」と言ふと、其の女は「あなたにそんな事を言はれる譯はありません」と怒りました。お爺さんは「電車代を出してゐる者が起つてゐるのに、電車代を出さぬ者が席をふさぐのは無法だ」と問ひ詰めましたので女はさも亂暴なお爺さんだと言はぬばかりに「この兒を連れて電車に乘ると、書生さんなど、皆起つて席を讓つて下さるのに、あなたは何んですか、まあ、驚いた」といつて、さも周圍の人々に同情を求めるやうに、あたりを見廻はしました。車內の人々は何んとも言ひません。お爺さんは尙「席を讓つてくれ」と追求しますので、女は遂に其の兒を抱えて「こんな目に遇つたことがない」と零しました。お爺さんは「錢も出さないで場所を取るなんて不都合な話だ」と繰返してゐました。

私は側で見てゐて、面白い喧嘩だと思ひました。弱者として憐れみを求めるだけで、尙一層弱者であるお婆さんに席を讓らぬ女の無知、弱者を憐れみ、正義を主張して、人の感情を眼中におかぬお爺さんの一徹が活躍して居るではありませんか。（みえ子）

□僞りの化粧用具□

化粧法は日に日に發達して行きますが婦人の美しさは反對に益々衰えて行きます。それは理屈にばかり走つて心から求める趣味を忘れてしまふ傾向からではありますまいか、だから自然表面的にばかり流れて贅澤なもの胡魔かし者が尊ばれます化粧道具のついた手提なぞも實はお化粧に使用されるさいふより寧ろ其新流行品を所持してゐる事を人の前に誇るために携帶するに過ぎぬやうであります。

□女中と飛行機

今飛行機が五臺私の家の上を一列に雁のやうに飛んでゐます。靑山に居ると女中までが、あれはモーリス式だの、これがファールマンだのと申します。門前の小僧の譬にもれません。（靑山にて嘉代）

□電車の中でお乳

電車の中で、お乳をやるお母さんを時々見受けますが、あれは實に見つともないと思ひます。（淸子）

寄書

某當局者に答ふ

（日本醫界第五十二號を讀みて）

大關看護婦會頭・大關ちか

「嚴重に取締を要する看護婦」と題して、日本醫界第百五十二號に某當局者の談が出てゐます、「風紀を紊す看護婦會」、「暴利を貪る會主」、「可憐なる看護婦」、「大に會主を取締れ」などと隨分ひどい事を言つて居られますが、他縣は知らず、東京には產婆看護婦會多く、單に看護婦會なるものは、其の五分の一でございます。今度起草委員として擧げられし五人の中、私一人が看護婦で、他は皆產婆看護婦兼任の方であります。產婆の會頭は私獨りで、一ヶ月五十圓乃至百圓の收入があつて、十五年以上働いて居れば、家の一つ位は建てられますが、單に看護婦のみして居る者は家を建てた者もなく、又金を持て居る者もありません。

會員の收入二割五分を取るを暴利と言はれますが、それは內狀を知らぬからです、私自身の會を例

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

として申せば、本會は四十八人内外の者を以て組織してゐますが、其内平均十八人づゝは休んで、三十八人宛働いて居ります。一等二等三等の者とありますから、二等で平均をとると、一人一日二十錢、三十人で一日六圓、十日の六十圓、三十日の百八十圓となる筈ですが、其内で減等で派出することもあり、特志で派出することもあるので、平均百五十圓位になります、百五十圓の收入をどう支出するかといふに、

支出の分（内譯）

四十七圓　家賃、疊數七十枚内外
　四十三枚は會員の部屋、此内三十圓位は舍費としていますから二十圓餘は交際費、（常の月は十二三圓で足りますが、盆暮には六十圓餘かゝります）

十圓、慈善救濟のため
二十五圓、會頭の月給
三十圓、生徒養成費
七圓五十錢、五人の生徒の小遣として毎月渡す
五圓、消耗品其他諸雜費、
四圓、女中の月給
五圓、事務員の月給
五圓、會頭の電車代
十圓、會頭並に會用の車代
十圓、生理解剖學の講師車代
（講師は吉岡先生が特志で來て下さいます）
三圓、税金一ヶ月分
二圓、廣告料
〆金百八十三圓五十錢
（此内三十圓の舍費を差引きますから丁度よいのです）

又可憐なる看護婦と言はれますが、相當に知識ある看護婦が無法なる會頭に從つて居る氣づかひがありません、若しあれば警視廳で取締つて頂きたいものです。部下の看護婦に怨まれて、どうして會が立つて行きませう。過日警視廳に請願の件も、若しお許しなき時は斷然職を辭し、廢業して諸姉に申譯せんと決心してゐましたが、十年以來親子姉妹もたゞならず親しみし會員と別るゝ事のいと悲しく、晝夜祈りましたが、誠意天に達し、請願通過と聽いて再生の思ひをしたのでございます。

編輯室より

▲今までの印刷所はどうも印刷期日がおくれたり、校正の間違が多かつたりして困りましたので、今度印刷所を取換えることに致しました。これからさういふ不便がなくつて濟むだらうと思ひます▲身の上相談は「懸案解決」と改名しました。種々な煩悶に惱む方は、上流にも中流にも澤山ある事と想ひますので、さういふ方々の御告白も伺ひたいと思ひます、それにしては身の上相談といふ語がいかにも下流の人のみを取扱ふやうに思はれる怖れがあるからであります。▲本號に問題として世間に提出しました、女淵改良論はさぞ世間の耳目を聳動することでせう。かういふ事を叫ぶのは多分本誌が初めてだと思ひますが、若し警視廳で取締るつもりならば、早速改良が出來る事ですから、其曉には皆樣と共に本誌の成功を祝ひませう。▲同人臼井鐵雄君のお父さんが日光の五重塔二十分一を製作せられ、もう完成に近づいてゐることは、別項「五重塔」の節に詳しく書いてありますが、非常に立派なもので、出來上つたら千五百圓の價値は充分だらうとの評番です。篤家か名士の庭園にでも据えつけたらどんなに美しく榮えるでせう。

購讀者諸君へ

購讀料をまだ御拂ひ込みにならぬ方は、どうぞ御願ひいたします振替は東京三一六六〇番ですから之れを御使用下された方が御便利です。振替御使用の時には、取り扱料として一錢餘分に御拂込み下さい。

社告

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、職業上其他有らゆる相談に應じ、無料にて最も善き解決を與へます。但し費用を要する御相談は實費を申受けます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外、午後零時より、午後四時迄です。

顧問

衆議院議員 文學士	小山東助
辯學士 法學士	杉山賢三
法學士	高田愼吾
婦人週報 主幹	小橋三四子

主任（前讀賣新聞 身の上相談主任）松本雲舟

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社内

人事相談所

電話番町四五六六番

帶上げの革命!!!

◉貴婦人愛用

此の繪は何に………あら未だ知らないの………

新發明の帶上げ止め………効用は………

●帶上げが下がらぬ●胸を締めぬ●後姿が「ステキ」●おたいこの形が立派●胸の呼吸が自然で呼吸器病に罹らぬ

專賣特許 衛生帶上げ止め

販賣店

三越呉服店
白木屋呉服店
松屋呉服店
大西白牡丹
小間物問屋 萬新商店
小間物問屋 富士喜商店

□定價□

並製　三十錢
上製　四十錢
特製　五十錢より

◉醫學上より見たる衛生帶上げ止め

生理上男子の呼吸は腹式で女子の呼吸は胸式であります其れは女子には姙娠と云ふ大役があるからであります然し之が爲め從來の帶上げ丈けではどんなに強く締めつけても直きづり落ちて「おたいこ」の形がくづれて見苦しくなります本品を御使用あれば婦人本來の胸式呼吸を完全に營む事が出來胸部の發達を阻害する憂ひは少しもありません。

◉婦人美より見たる衛生帶上げ止め

日本婦人の美點は髮と帶とにあります本品を御用ひになればどんなにしても帶上の下がる事なく「おたいこ」の形も締めたまゝに「きちん」となつて終日後ろ姿の美を保つ事が出來ますなほこの帶上げ止めでは帶を高く結ぶことが出來ますから背がすらりと見えます。

（帶上げは丸髷形が一番調和します）

■使用法■

圖の如く下縮へさし込んで帶と帶上げを一緒に帶上げ止の上に載せるのであります。

（本社代理部でお取次いたします）

婦人週報讀者

特價提

米國シンガーミシン會

家庭用

體裁優美に

裁縫刺繍に

特製

外に和服裁縫に

新式

装飾用に

キャビネ

ミシ

種類及定價

の方は婦人

申込を乞ふ

婦人週

京都染物

御誂御好に應

らしき品同樣

あらいはり、

右之通迅速を

可仕候間多少

に奉願上候

用を承り居候

東京市本郷區

井筒屋支店

御注文の節は御

齒科

ドク

日本橋區高砂

に限り
供!!
社
ミシン
して和服
最も適す
ツト型及び客室
もなる
ミシン
最も適する
ン數種
表の目録御望み
週報社へ直接御
週報社代理部

し御古物染直しにても御新
美麗にいたし候
しみぬき、ゆのし
旨こし精々入念廉價に調進
に拘らず御用向被仰付度偏
宮内省初め女子大學校の御
湯島新花町八番地（靈雲寺門前）
中村榮次郎
電話下谷五六七四
報被下候へば早速御伺可申候

ドル
富田貞一
電話浪花五四〇五
町六（久松町停留場より西一丁）

護謨製氷枕

左の特價で御取次をします
品は御請合致します。

大 四十五錢の處 特價參拾五錢 送料貳錢
小 四十錢の處 特價參拾錢 送料貳錢

婦人週報社代理部
東京市牛込區市ヶ谷田町貳丁目拾七番地
電話番町四五六六
振替東京三一六六〇番

家庭園藝苗物提供

伊勢撫子苗 花銘付三本壹圓（送料共）
同 同五本壹圓參拾錢（同）
同 雜五本壹圓（同）
麝香撫子苗赤白 一株貳拾五錢（送料共）

伊勢撫子は變化に富み且つ色彩豐富にして本邦の草花中最も優美なり、麝香撫子は色彩艶麗にして芳香無比なり
畏くも先帝陛下御鍾愛し賜ひしは此伊勢撫子なりと拜承す

婦人週報社代理部

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

(最新刊)

東京上野家政高等女學校講師
東京錦秋實科高等女學校講師
村井秋翠

袋物專門教授
中村興湖
共著

家庭袋物細工全書

和裝全一冊美製
正價金壹圓拾錢
郵税 内地金八錢 臺樺金十八錢 朝支金十八錢

どんな初心の御方でも此本一册御覽になれば直ちに立派な袋物細工が出來ます必ずお試を願ひます

本書は袋物細工を獨習する者の參考に供せんが爲め純國粹的倭式の製作法と最新式の泰西風製作法とを合せて研究し得る新著にして家庭に於ける夫人及令孃の爲め又裁縫檢定試驗に應ずる姉妹の爲めに極めて有益の參考書たるべし。

▲圖書目錄御入用の方は郵券二錢送らば呈す

(東京日本橋)

發行所大倉書店

(振替東京一三八番)

祝婦人週報創刊

▲クリスマスカード及舶來繪本　五錢以上
▲キャレンダー(優美繪入曆)　十錢以上
▲燒畫器　二圓三十錢 送料八錢
▲西洋書翰箱入　十五錢以上
◉聖書、讃美歌　各種

Advice to a Mother by P. H. Chavasse .... .50—.08
Baby, a Mother's Book by a Mother ... ... .25—.04
Corot by S. Allnutt ... ... .75—.08
Pilgrim's Progress by M. Mac-Gregor ... ... .50—.06
Scotland (Peeps at Many Lands) by E. Grierson ... ... .75—.08
Shakespeare, by C. H. Herford... .25—.04
Story of Jesus for Young and Old. A Complete Life of Christ written in simple Language ... ... 3.00—.12
Switzerland, by J. Finnemore ... .75—.08
Synonyms, by J. K. Gray ... ... .25—.04
Tum Tum, The Jolly Elephant his Many adventures by R. Barnum ... ... .80—.08

東京　教文館　銀座
振替東京一一三五七

宮内省御買上
使へば使ふ
お顏の生地

不思議に生地の色までも白くする
ク

最近發明のクラ
美身劑を今回新

各宮家御買上
李

大正四年十一月四日第三種郵便物認可
大正四年十二月三日發行

本紙定價 一部金四錢五厘(郵送料共)
半年(廿六部)前金壹圓
▲三月(十三部)
▲一年(五十

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産科
婦人科
小兒科

東京府内藤新宿
番衆町卅一番地

女醫　井出茂代

電話番町三六七七番

宮職御用

はご自然に
まで白くなる

ブ白粉

ブ本店獨特の
に配合せり

士家御買上

家庭週報

■家庭週報は四六四倍大八頁のもので毎週金曜日に發行致します。

■家庭週報の内容は主として日本女子大學校卒業生の研究、經驗及思索、文苑の發表機關にあて又廣く一般婦人の眞面目なる所信の發表機關にあてゝ居ります。尙婦人に關する諸先輩の意見を乞ふて掲載致します。

■家庭週報の抱負は廣く婦人の伴侶となり、慰安となり指導となつて行くことを期して居ります。

■家庭週報は常に研究的態度を以て改善進歩に務むることを忘れません。

■家庭週報は編輯は勿論事務、發送、廣告等總て女子の手に依つて經營せられて居ります、故に家庭週報そのものが既に女子研究の好材料と見らるゝことを覺悟して居ります。

▲定價一部（郵稅共）金三錢五厘
○半ヶ年分前金八十五錢　一ヶ年分前金一圓六十錢

發行所　東京市小石川區日本女子大學校内　櫻楓會
電話番町　二一六五　振替貯金口座東京一〇三四〇

麹町區三番町三十番地（市ケ見附内）

電、番六二番

院長　醫學士　高田畊安

東洋内科醫院

院長診察月、水、木、金午前
林、峰間兩副長は目下當院に在勤

電話ちがさき二番

南湖院

相州茅ヶ崎海濱（從停車塲半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診察後應需

廣告料　一行金四拾錢　一段拾貳圓　一頁金六拾圓
前金五十四錢
一部）前金貳圓

婦人週報社
東京市牛込市谷田町二丁目十七番地
電話番町四五六六番
振替東京三一六六〇番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA